

作成 2008.6(0)

VOC対策品!

F★★★★・4VOC対応品

1液型ウレタン樹脂系  
木質床組用・床暖房パネル・束施工用接着剤

## ボンド床職人 KU928C-Xアプリパック

アプリパック入り

床職人KU928C-Xアプリパックは、各種木質系床材の施工に適した、高性能1液形湿気硬化型ウレタン樹脂系接着剤で、環境に配慮した省ゴミ容器であるアプリパック容器入りです。

厚生労働省が室内濃度指針値を策定した13物質（2002年1月22日策定）、及びVOC（揮発性有機化合物）成分を配合していないVOC対策品です。

更に床職人KU928C-Xアプリパックの硬化皮膜は適度な弾性をもっており、接着剤をビード状に塗布施工することによって、従来の木質床の施工で問題となっていた床鳴り音の発生を防ぐことが可能です。また、木材の乾燥・吸湿にともなう寸法変化を吸収、緩和する効果もあり、床暖房施工用途でも優れた性能を発揮します。

耐水・耐熱・耐油性に優れており、その他鋼製束・プラスチック束施工にも適応できます。

### ■ 用 途

- 戸建て住宅木質フロー床組用
  - ◇ 木質フロー仕上げ材と合板、パーティクルボード、根太用などの木質下地材の接着
- 各種床暖房パネル施工およびフローリング仕上げ用
- 都市再生機構、乾式遮音二重床フローリング仕上げ用
- 鋼製束、プラスチック束の接着固定用

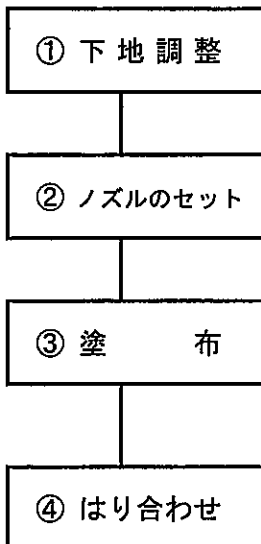
### ■ 特 長

- JIS A 5536 F★★★★対応品です。
- JAIA 4VOC基準適合品です。
- 各種木質床材に対し、優れた接着性を示します。
- 床鳴り防止効果があります。
- 人体に有害な有機溶剤を含んでおらず、臭気はほとんどありません。
- 非危険物のため、火気に対する安全性が高くなっています。
- 耐水・耐熱・耐油性に優れ、水まわりの施工にも適しています。
- 木質床材の膨張・収縮を吸収、緩和する効果があり、床暖房施工にも使用できます。
- 省ゴミ対策品です。

### ■ 性 状

主 成 分	ウレタン樹脂
外 観	淡黄白色ペースト状
粘 度 Pa·s	120~210 [10r/min 23℃] 70~140 [20r/min 23℃]
比 重	1.30~1.50 [23℃]

### ■ 施工方法



- 下地の凹凸や段差を修正し、ゴミ・ホコリ・油分・サビなどの汚れ、および塗料をよく取り除き水分は十分に乾燥させてください。
- 容器のノズルをはずして、カッター等でノズルの一番下の標線を切り取りアルミ膜を十字に破ってからノズルを取り付けてください。
- 床職人KU928C-Xアプリパックをビード状に等間隔(5~30cm)にフロー材と直交方向に塗布します。  
※施工可能量=約1.5坪/本
- 塗布直後からはり始め、下記の条件内ではり終えてください。必ず釘を併用してください。

季 節 区 分	夏 季	冬 季
はり合わせ可能時間	20分以内	60分以内
標準硬化時間	24時間	24時間

※本品は水分と反応して硬化するため、一度アルミ膜を破った製品はすみやかに使い切るようにしてください。

※床材の表面などに付着した場合、すぐに乾いた布や別売の『ふき太郎』で拭き取ってください。※使用器具は、使用后すぐに乾いた布や別売の『ふき太郎』で洗浄してください（一度硬化した接着剤は洗浄できません）。

※防音及び直貼りフローリングの施工には使用しないでください。その際は『KU928Rシリーズ』をご使用下さい。

■ 注 意

本品は健康に有害な物質を含有（MDIを1%以上含有）しており、皮フに付着したり蒸気を吸入するとかぶれや中毒、その他の健康障害を起こす恐れがありますので、取り扱いには下記の注意事項を守ってください。

1. 取扱い作業場所の換気は充分に行ってください。
2. 取扱い中はできるだけ皮フに触れないようにし、必要に応じて保護具を着用してください。
3. 容器から出し入れするときには、こぼれないようにしてください。
4. 取扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行ってください。
5. 作業着などに付着した場合には、その汚れをよく落としてください。
6. 皮フに付着した場合には速やかに拭き取り、石ケンと水でよく洗い落としてください。
7. 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
8. 眼に入った場合には多量の水で洗い、必要に応じて医師の診察を受けてください。
9. 温度が40℃以下の一定の場所を定めて保管してください。また使用後は容器のフタをよく閉めてください。また、開封した接着剤は速やかに使い切るようにしてください。

■ 技術データ

以下のデータは断りのない限り、すべて23±1℃、55±5%RHの標準条件下で測定したものです。

1. 各種材料（下地材）への接着性〔平面引張試験〕

	木質707-/ ラワン合板	木質707-/ パーティクルボード	木質707-/ 針葉樹合板
常態接着強さ N/mm <sup>2</sup> {kgf/cm <sup>2</sup> }	1.00 {10.2}	0.83 { 8.5}	0.97 { 9.9}
耐水接着強さ N/mm <sup>2</sup> {kgf/cm <sup>2</sup> }	0.66 { 6.8}	0.58 { 5.9}	0.55 { 5.6}
加熱暴露接着強さ N/mm <sup>2</sup> {kgf/cm <sup>2</sup> }	0.83 { 8.5}	0.74 { 7.5}	0.63 { 6.4}
JAS 1 類浸せきはく離試験	合格	合格	合格

材破=材料破壊

試験条件 [塗布量：約550g/m<sup>2</sup>、オープンタイム：10分]  
 常態接着強さ；標準条件で接着、7日間養生  
 耐水接着強さ；標準条件で接着、7日間養生、20℃の水に7日間浸せき  
 加熱暴露接着強さ；標準条件で接着、7日間養生、80℃オープンに7日間放置

2. 鋼製束への接着性

	常態接着強さ N/1本 {kgf/1本}	耐水接着強さ N/1本 {kgf/1本}
鋼製束/ コンクリートブロック	5101 {520}	4022 {410}

試験条件 [塗布量：鋼製束 30g/本]  
 常態接着強さ；標準条件で接着、7日間養生  
 耐水接着強さ；標準条件で接着、7日間養生、23℃の水に7日間浸せき

3. 床暖房パネルとの接着性〔木質フロー材/床暖パネル/スレート板；平面引張試験〕

	常態接着強さ N/mm <sup>2</sup> {kgf/cm <sup>2</sup> }	冷熱繰り返し N/mm <sup>2</sup> {kgf/cm <sup>2</sup> }	加熱暴露接着強さ N/mm <sup>2</sup> {kgf/cm <sup>2</sup> }
床職人KU928C-X アプリパック	0.36 {3.7}	0.22 {2.2}	0.28 {2.9}

試験条件 [塗布量：約550g/m<sup>2</sup>]  
 常態接着強さ；標準条件で接着、7日間養生  
 冷熱繰り返し；標準条件で接着、7日間養生、80℃×8時間～-20℃×8時間を1サイクルとして100サイクル  
 加熱暴露接着強さ；標準条件で接着、7日間養生、80℃オープンに2000時間放置  
 床暖パル一表面材；アルミ箔 芯材；ポリスチレンフォーム

4. 接着強さの立ち上がり〔圧縮せん断試験〕

養生時間		1日	2日	3日	7日
接着強さ N/mm <sup>2</sup> {kgf/cm <sup>2</sup> }	5℃・55%RH	4.11 {41.9}	4.34 {44.3}	4.93 {50.3}	5.22 {53.3}
	23℃・55%RH	5.89 {60.1}	5.95 {60.7}	6.67 {68.0}	6.75 {68.9}

※被着材：アサダ/アサダ

※破壊状態は全て接着剤の凝集破壊

5. VOC放散量

JIS A 1901:2003

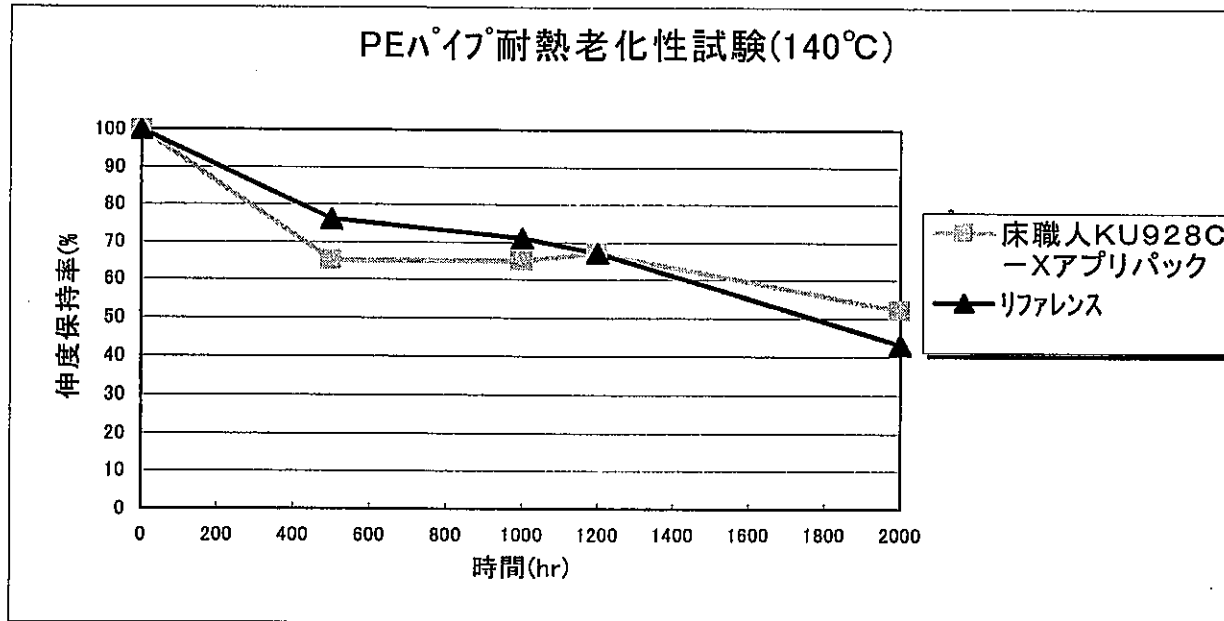
「建築材料の揮発性有機化合物(VOC)、ホルムアルデヒド及び、他のカルボニル化合物放散測定方法-小型チャンバ-法」に準拠して実施。

	1日	3日	7日
放散量 (μg/m <sup>3</sup> )	98	85	57
放散速度 (μg/m <sup>2</sup> ・h)	120	110	68

6. J A I 1 4 の性能規定に基づく試験

		J A I 規格	試験結果
外 観		均質であって異物の混入のないこと	均質で異物の混入認めず
塗 布 性		容易に塗布できること	塗り易い、妙目山の状態良好
不 揮 発 分 (%)		90以上	99.5
引張強さ試験(N/mm <sup>2</sup> )		1.0以上	1.02<合板の材破>
床鳴り防止性	23℃	40dB以下	28dB
	40℃	40dB以下	29dB

7. ポリエチレンパイプ耐熱老化性試験



※ポリエチレンパイプ耐熱老化性試験について

温水循環式床暖房には温水を床下に循環させるためにポリエチレンの配管を使用しています。したがって、施工に使用する接着剤には接着剤がポリエチレン管に付着した場合を想定して、長期的にポリエチレン管を汚染しないことを確認する「ポリエチレンパイプ耐熱老化性試験」に合格することが必要となります。

合格の目安は140℃×1200時間で伸度保持率が50%以上です。

■ 梱包容量

◎600ml アプリパック (12本入/1ケース)

※国際単位系(SI)による数値の換算は、1000cP=1Pa・s(1cP=1mPa・s), 1kgf/cm<sup>2</sup>=0.098N/mm<sup>2</sup>です。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験・研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能、諸特性などは、材料や使用条件により本資料と異なる結果を生じることがあります。実際の諸性能、諸特性などについてはご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

コニシ株式会社

大阪本社 大阪市中央区平野町 2-1-2 (沢の鶴ビル)

東京本社 東京都千代田区神田錦町 2-3 (竹橋スクエア)

支 店 名古屋、福岡、札幌

営 業 所 仙台、北関東、南関東、金沢、広島、高松